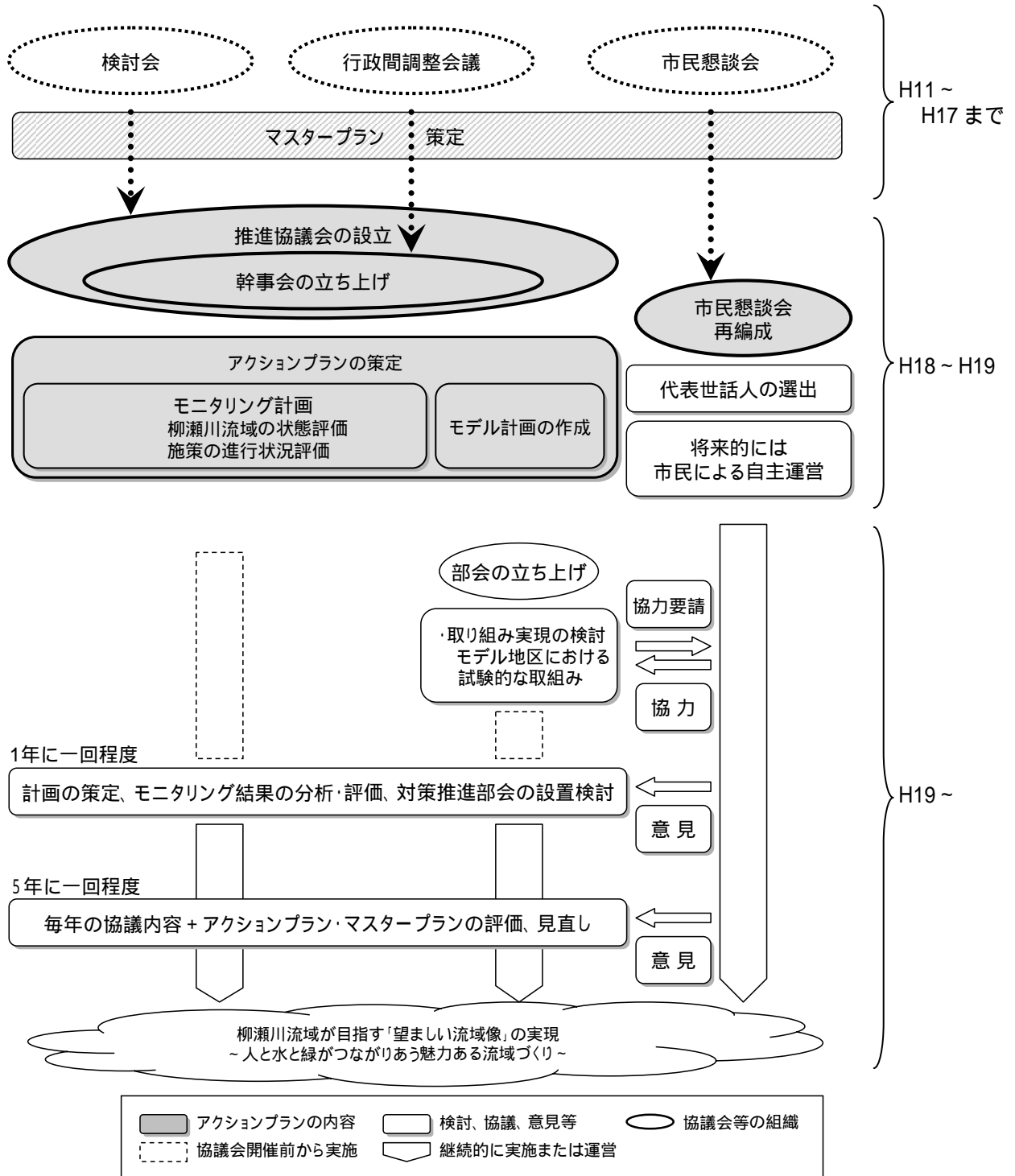


柳瀬川流域水循環市民懇談会の位置づけ

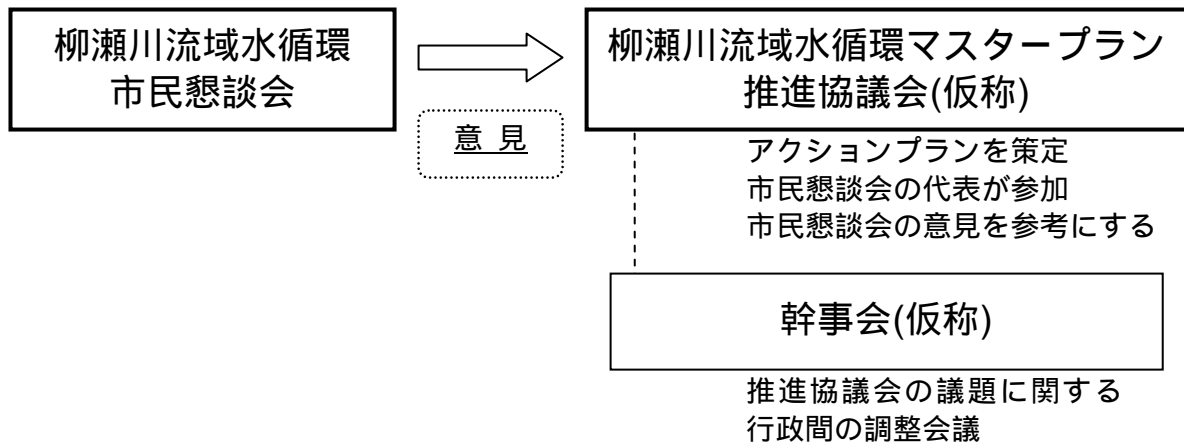
「柳瀬川流域水循環マスタープラン」の策定と今後の取り組み

「柳瀬川流域水循環マスタープラン」を策定するにあたり、「柳瀬川流域水循環マスタープラン検討会」、「行政間調整会議」、「柳瀬川流域水循環市民懇談会」が組織されました。これにより、市民・学識経験者・行政が一体となり、幅広い意見を取り入れながらプランが策定されました。

今後は、これらの組織を再編成し、「柳瀬川流域水循環マスタープラン」を推進するための行動計画、「アクションプラン」を策定します。



それぞれの組織の位置づけ



柳瀬川流域水循環市民懇談会の目的

柳瀬川流域の急激な都市化により、降った雨が一気に川に流れ出すようになり、洪水の危険性が大きくなったり、普段の川の流れが少なくなったりしてきました。また、地価にしみ込む雨が少なくなったために、地下水水位が低くなったり湧水が減ったりしています。さらに、ヒートアイランド現象などもみられるようになってきました。

このような問題を総合的に解決するために、流域における健全な水循環系の構築が必要であるとして、平成 17 年 3 月に「柳瀬川流域水循環マスタープラン」が策定されました。今後は、「柳瀬川流域水循環マスタープラン」を推進していくための「アクションプラン」を策定し、これを実行に移していくことが必要となってきます。

本市民懇談会は、「アクションプラン」の検討、実行にあたり、市民の立場からご意見を出していただき幅広く議論を行うものです。

柳瀬川流域水循環市民懇談会 参加の原則

それぞれの自由な立場で自由な発言を行う

互いの発言を尊重し合うこと

お互い真摯に納得のいくまで議論を行う

柳瀬川流域の望ましい流域像を実現するために、善意に基づき発言し行動する

行政あるいは市民が行う事業(活動)について、最終的に判断するのは、それぞれの事業(活動)主体である